意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

|  |  |
| --- | --- |
| 案件名 | 第６次登別市社会教育中期計画（案） |
| 意見の募集期間 | 令和３年６月１日（火）から令和３年６月３０日（水）まで |
| 担当グループ | 教育部社会教育グループ |
| 意見の提出件数 | １件（２項目） |
| 提出された意見の要旨と市の考え方 |
| № | 意見の要旨 | 市の考え方 |
| １ | ①GIGAスクール構想について他市では、端末の価格設定について問題視する報道がされている場合があります。そこで、費用負担について市民・保護者が納得する形や、賄賂等疑念を持たれない透明性のある策定が必要と考えます。この点について記述を求めます。また、端末のOSのあり方やスペックについてや、必要なソフトウエアのあり方についても透明性と記述が必要ではないか。極論ですが、既にリクルート社のスタディサプリ等教育役務がありますが、学校の先生の教え方のあり方も考えていく必要性があるのではないか。この事は「３家庭教育」とも密接に関わる問題だと考えます。②少子化によって、文化系とくに吹奏楽が壊滅的な状況になっています。一方で、DTMといった方法やSNS・動画サイトを活用し、作曲制作した作品を世界に発信するという事も可能である。学校の統廃合で合理的な学校運営が必要ではないか。 | ①本市では、国のGIGAスクール構想に基づき、令和２年度に児童生徒１人１台端末を導入しましたが、国の補助金及び交付金を活用したため、保護者の費用負担はありませんでした。また、端末は市の規定に基づき競争入札により購入しております。　端末について国は１人１台端末の基本モデル例を３種類示しており本市では、クロームブックを導入しました。クロームブックは、起動が早く、データーはクラウド上に保存されるため、端末が故障した場合においてもデーターの復旧が容易であり、共同電算を実施している西胆振３市１町において、同じ端末を導入した場合、教職員が他自治体に異動した際におきましても、スムーズに端末を使用できることから、３市１町においてクロームブックを導入しております。　教育活動においてICT機器を活用することにより、学習活動の一層の充実や、主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善が期待されますが、教員の活用スキルや児童生徒の習熟度により、実施できる取組や効果は異なりますので、パソコン端末が身近な学習ツールとなるよう、使い方の指導や学習で効果的に使える場面を設定して、積極的に試行することからスタートし、パソコン端末の操作と活用の習熟を図るなど段階的にＩＣＴ機器を活用した教育を進めているところです。②児童生徒数の減少により、文化系だけではなく、全ての部活動においてさまざまな課題が生じているものと認識しています。登別市教育委員会では、引き続き、小中学校の適正配置にかかる取り組みを推進するとともに、国が進める「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」に沿った地域部活動への移行など、持続可能な部活動の構築を目指してまいります。 |

※提出のあった意見のうち、１項目は他事記載であったため、公表の対象としていません。